

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13087	2	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	臨床栄養学Ⅰ(臨床症候と栄養障害の評価) (Clinical Nutrition ScienceⅠ)				
担当教員名	細田 明美				
授業の概要及び到達目標					
<p>【ねらい】傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて適切な栄養管理を行うために、薬剤の服用状況、臨床症候および栄養状態の評価、それに対する臨床栄養管理の基礎知識を学習する。</p> <p>【概要】栄養アセスメント、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する臨床栄養管理の考え方を解説する。その上で、管理栄養士が行う具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給などについて講義する。</p> <p>【到達目標】①疾病・身体状況に対応した栄養補給方法を説明できる。②栄養アセスメントに必要な項目と栄養状態との関係を説明できる。③栄養アセスメント項目から栄養状態や疾病コントロール状況を把握できる。</p>					
準備学習等					
<p>「体の仕組みと働きⅠ・Ⅱ」および「生化学Ⅰ」、「栄養学総論」、「基礎栄養学特論」、「総合学習Ⅱ」の学修内容を十分に復習してから臨むこと。</p> <p>&lt;予習・復習&gt;          毎回、該当箇所のテキストページを読み、予習しておくこと。          授業終了後は、速やかに復習し理解を深めること。</p> <p>第1回：テキスト①第1編1および2(2.1、2.2)を熟読し、臨床栄養の意義・目的と傷病者の栄養管理、栄養スクリーニング方法について理解しておくこと。</p> <p>第2回：テキスト①第1編2(2.3.AおよびB)を熟読し、臨床診査および身体計測について理解しておくこと。</p> <p>第3回：テキスト①第1編2(2.3.D)、テキスト②臨床検査総論第1章および臨床検査各論第1章1項を熟読し、臨床検査の内容および尿・便検査について理解しておくこと。</p> <p>第4回：テキスト①第1編2(2.3.D)、テキスト②臨床検査各論：第2章を熟読し、血液検査について理解しておくこと。</p> <p>第5回：テキスト①第1編2(2.3.D)、テキスト②臨床検査各論：第3章を熟読し、血液生化学検査について理解しておくこと。</p> <p>第6回：テキスト①第1編2(2.3.C)、第2編12(12.1)を熟読し、脱水と貧血について理解しておくこと。</p> <p>第7回：テキスト①第1編2(2.3.C)を熟読し、浮腫、腹水、黄疸について理解しておくこと。</p> <p>第8回：テキスト①第1編2(2.3.C)、第2編7(7.2、7.6)を熟読し、下痢、便秘、摂食嚥下障害について理解をしておくこと。</p>					

<p>第 9回：テキスト①第 1 編 2 (2.3.C)、第 2 編 17 (17.1.2) を熟読し、悪心・嘔吐、食欲不振、低栄養、褥瘡について理解しておくこと。</p> <p>第 10回：テキスト①第 1 編 2 (2.5.2) を熟読し、経腸栄養法について理解しておくこと。</p> <p>第 11回：テキスト①第 1 編 2 (2.5.2) を熟読し、静脈栄養法について理解しておくこと。</p> <p>第 12回：テキスト①第 1 編 4 を熟読し、食事と医薬品の相互作用について理解しておくこと。</p> <p>第 13回：テキスト①第 2 編 5 (5.1) を熟読し、栄養障害について理解しておくこと。</p> <p>第 14回：テキスト①第 2 編 5 (5.2)、テキスト②臨床検査各論：第 3 章 J,K 項を熟読し、ビタミンおよびミネラル欠乏症・過剰症について理解しておくこと。</p> <p>第 15回：テキスト①第 2 編 5 (5.3)、を熟読し、テキスト②臨床検査各論：第 3 章 H 項を熟読し、電解質代謝異常について理解しておくこと。</p>	
成績評価の方法	<p>期末試験：100%</p> <p>※授業の出席状況および授業態度より減点することがある</p>
テキスト	<p>① 栄養科学シリーズ『新・臨床栄養学』竹谷豊、塚原丘美、桑波田雅士、阪上浩編：講談社 (ISBN978-4-06-155384-2)</p> <p>② 『看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック 第 5 版』、奈良信雄著：医歯薬出版社 (ISBN978-4-263-70625-1)</p>
参考図書	
備考	<p>○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図を確認すること。</p> <p>○オフィスアワーは desknet' s の一覧で確認すること。</p>
授 業 計 画	
<p>第 1回 臨床栄養とは、臨床栄養管理のあり方、スクリーニング方法</p> <p>第 2回 栄養パラメータ：臨床診査、身体計測</p> <p>第 3回 栄養パラメータ：臨床検査値①</p> <p>第 4回 栄養パラメータ：臨床検査値②</p> <p>第 5回 栄養パラメータ：臨床検査値③</p> <p>第 6回 臨床症候と栄養障害の評価：脱水、貧血</p> <p>第 7回 臨床症候と栄養障害の評価：浮腫、腹水、黄疸</p> <p>第 8回 臨床症候と栄養障害の評価：下痢・便秘、摂食嚥下障害</p> <p>第 9回 臨床症候と栄養障害の評価：悪心・嘔吐、食欲不振、低栄養、褥瘡</p> <p>第 10回 栄養補給方法：経腸栄養法</p> <p>第 11回 栄養補給方法：静脈栄養法</p> <p>第 12回 食事と医薬品の相互作用</p> <p>第 13回 栄養・代謝・内分泌系疾患の栄養管理：飢餓、たんぱく・エネルギー栄養失調</p> <p>第 14回 栄養・代謝・内分泌系疾患の栄養管理：ビタミンおよびミネラル欠乏症・過剰症</p> <p>第 15回 栄養・代謝・内分泌系疾患の栄養管理：電解質代謝異常</p> <p>※授業の進行は変更する場合があります。</p>	